

地域の防災力を高めよう



11月25日、池田総合体育館において、地域の防災力を高めることを目的とした、防災フォーラムが開催されました。フォーラムでは基調講演や、知事や関係者らによるパネルディスカッションが行われ、総務省消防庁長官の高部正男氏は「現代の地域社会は昔と比べ結び付きが希薄である。この地域は自主防災組織の組織率が低いと聞いているが、防災を通じて地域力を高めてほしい。」と、私たちに語ってくださいました。

がんの撲滅を訴え 6600 キロ



11月14日、がんを呼び掛けマラソンで日本一周に挑戦中の船渡悟さん（岐阜市）が三好市に到着しました。毎日約42kmを走りながら、北海道や九州を経て、約6,600kmを走ってきました。がんを克服した船渡さんは、がんを悩む人に勇気を与えたいと、マラソンでの日本一周を決意しました。また、がん撲滅を呼び掛け、国立がんセンターなどに贈る寄付金も募っています。募金の振込先は（郵便局 ぼるる がん撲滅募金の会 12420-30279181）です。



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 総務課広報係
☎ 0883-72-7600

紅葉の谷あい妖怪が大集合

紅葉があざやかな藤の里公園（山城町上名）において、11月12日妖怪もみじ祭が行われ、市内外から約400人が訪れました。この祭りは、こなき爺の伝承を後世に残し、妖怪をテーマとした町おこしを行おうと藤川谷の会が毎年開催しているもので、会場内では手づくり妖怪コンテストや妖怪行列などが行われ、様々な妖怪がお祭りを盛り上げました。また、大鍋で煮込まれた妖怪汁（猪鍋）も参加者に振舞われ、会場周辺は日が暮れるまでにぎわいました。



▲ 妖怪行列

身近な川に親しむ芋だき会



山城町の銅山川の秋の催しとして定着している伊予川芋だき会が、11月5日に行われました。新宮芋だき会のメンバーや地域住民など約200人が来場し、2つの大鍋に用意された芋だきに舌鼓を打ちました。今回は、もっと川を身近に感じてもらうと、ラフティングボートに乗ることができるコーナーも登場いたしました。このほか会場では、地元小学校や芋だき会の活動紹介展示や、各種バザーなども行われ、賑わいをみせました。

レクリエーションで防災意識の向上を



山城中学校体育館で10月22日、山城婦人会レクリエーション大会が開催されました。この大会は、山城婦人会が会員間の親睦を目的に開催したもので、168人の会員とOBが参加しました。参加した会員は、仮装行列やフォークダンスといった趣向をこらした競技に参加し、会員たちの笑い声の中、スポーツの秋を満喫しました。この大会では、火事を想定した防火訓練という競技や非常食調理の実演等が行われ、防災意識の向上にも一役買うことができました。

三好市初の発掘調査が無事終了



9月25日より約1か月間、三野町勢力の館山において遺跡の発掘調査を行いました。これは、NTTドコモ四国社の携帯電話中継基地建設に伴って、同社の協力で行ったものであり、山下武久先生（井川町辻）を中心に作業をすすめてきました。調査の結果、弥生時代後期のものと思われる住居跡が1か所発見されたほか、多数の遺構や遺物が出土されました。出土物は三好市三野公民館にて現在整理中ですので、関心のある方はぜひご来館ください。

地域の緑を豊かに 50年



西井川林業クラブが設立50年を迎え、11月4日に西井川農村公園で記念式典を開きました。式典には世界一危険なアートと言われるチェンソーカービングの西田あやさんが来場し、丸太が刻々と彫刻作品に変化していく様子を披露しました。同クラブは1956年、太平洋戦争中の強制伐採で荒れ果てた山に緑を取り戻そうと、住民有志が設立しました。現在は間伐や炭焼きなどの多彩な体験メニューを提供し、県内外から多くの小中学生や大学生が訪れています。